

やまがた出会いサポートセンター
第5回運営委員会 議事要旨

日時：平成28年2月16日（火）
13時30分～14時50分
場所：山形県庁 1201会議室

- (1) 平成28年度事業計画（案）について
- (2) 平成28年度収支予算（案）について

<委員側>

- ・成婚数15組のうち6組は会員同士とあるが、残りの9組はどのようなケースなのか。

<事務局側>

- ・会員がイベントを通じて出会った方と成婚されたケース等。

<委員側>

- ・若い世代への結婚支援、定着実現に向けた住みやすいまちづくりの重要性を感じている。
- ・当方の婚活への取組みはNPO法人を通じてのイベント開催が主であるため、1対1の出会い支援に取り組んでいるセンターと連携、協力して、結婚支援を進めていきたい。

<委員側>

- ・マッチングシステムについて、プロフィールに動画活用との案が出ているが、セキュリティ対策についてはどのように考えているのか。
- ・これまでに会員からの苦情（ストーカー被害等）はなかったか。
- ・マッチングのテクニックの研修等、実施していただきたい。
- ・当方でも結婚支援に取り組み5年となり、成婚数が10組に届きそうである。成婚報告者に1万円支給等実施しているが、成婚報告を促すにはどうすればよいか。

<事務局側>

- ・（セキュリティ対策は）システム担当業者と相談しながら、慎重に進めたい。平成26年1月よりこのシステムで運営しているが、大きな問題や苦情はない。
- ・（成婚報告は）センターとしても課題としている。イベントを通じての成婚報告数が少ないと思われるので、イベント登録団体に対し参加者への呼びかけ（文書配布）等を依頼する予定である。

<委員側>

- ・出会いの相談窓口設置との案が出ているが、どこを想定しているのか。
- ・会員の中で、マッチングが全くない方はどのくらいいるのか。

<事務局側>

- ・(出会いの相談窓口は) 委託業者のコーディネーターの方を想定している。対処が難しい事案については、月1回程度の相談日を設けて対応したいと考えている。
- ・(マッチングが全くない方は) 平成27年10月実施のアンケート回答より数件を把握している程度であり、会員のデータ分析ができていない。多くのご指摘もいただき重要なことであるので、次回までには会員のデータ分析を行いたい。

<委員側>

- ・マッチングシステムの活用を促すべく、説明会や出張登録会についての広報誌掲載を継続して行いたいので、日程(年間計画等)について、早めの連絡をお願いしたい。広報誌の発行予定は、当方では月2回発行だが、月初め発行分の原稿締切は前月15日頃となっているようだ。
- ・ポジティブキャンペーンの動画をぜひ若い方々に見てほしいので、成人式等で上映することは可能か。
- ・婚活力アッププログラムについて、定住促進のためにも、ぜひ多くの地域での実施をお願いしたい。

<事務局側>

- ・出張登録会等の日程が決まり次第、お聞きした広報誌発行のスケジュールを踏まえご連絡したい。
- ・(ポジティブキャンペーンの動画は)こちらが著作権を持っている。成人式での上映等効果的だと思うので、ぜひ活用していただきたい。
- ・(婚活力アッププログラムは)セットのプログラム(数回、数日に及ぶもの)は各地域での実施は難しいが、単独のものは実施を検討したい。

<委員側>

- ・自前での取組みはないため、今後もセンターや広域連携で協力して結婚支援を行っていきたい。来年度から、地元の仲人会への成功報酬を予定している。

<委員側>

- ・説明会や出張登録会のお話もいただき、当方でも登録料の補助等、マッチングシステムの活用を勧めているが、登録者数の増加にはなかなか結びつかない。
- ・地元の結婚支援サポーターへの支援を検討している。
- ・近隣地域と協力し、婚活のための研修等を実施したい。

<委員側>

- ・若者を中心とした実行委員会を組織して企業間交流イベントを実施する予定だが、このようなケースは来年度事業計画の企業間交流支援に該当するのか。
- ・来年度から、マッチングのサポーターとして10名程度の方をお願いしたいと考えている。そのため、結婚支援者研修の実施等検討したいので協力願いたい。

<事務局側>

- ・企業間交流については、異業種間、参加人数等、型にはまらず取り組みやすいものを企画していただければと思う。

<委員側>

- ・出会いの相談窓口について専門家による相談対応とあるが、どのような専門家なのか。
- ・婚活力アッププログラムについて、ぜひ多くの地域で実施してほしい。

<事務局側>

- ・(専門家による相談対応は)結婚支援業者等民間の力を借りての実施を考えている。
- ・(婚活力アッププログラムは)セットのプログラム(数回、数日に及ぶもの)は各地域での実施は難しいが、単独のものは実施を検討したい。

<委員側>

- ・広報誌等で情報提供を行っているが、来年度もさらに踏み込んで協力したい。
- ・出会いの相談窓口について、対象は会員限定か。

<事務局側>

- ・一般の方どなたでも気軽に相談していただける窓口と考えている。相談の最初の窓口として受けて、必要に応じ、それぞれの担当へ案内することを想定している。日々少しずつ対応スキルを積み上げていければと思う。

<委員側>

- ・平成28年度事業計画(案)、平成28年度収支予算(案)について異議なし。
- ・ポジティブキャンペーンのアンケート結果より、人によっては、大多数の方がイメージすること(結婚=子どものいる生活)と違うことをイメージする方もいる。少数の方が持つイメージについてもよく考えて、今後の事業を執行してもらいたい。

(3) 今後のスケジュールについて

特に質疑なし

以上